

注目!

まちの話題

● 古河市民芸術鑑賞の集い
こころの詩〜野口雨情物語〜

12月13日、ユースセンター総和で舞台「こころの詩〜野口雨情物語〜」が上演されました。出演は古河市出身の俳優・井上高志さんと、地元を中心に活動する「劇団まくらが」。鷹見泉石のひ孫で絵本作家の鷹見久太郎と親交の深かった詩人・野口雨情の半生や、彼を献身的に支える家族の人間模様を描いた内容で、俳優生活40周年を迎えた井上さんが自ら演出を手がけました。

昼の部・夜の部ともに会場は満員。約500人が、笑いあり涙ありの人生に思いをはせながら、舞台に見入っていました。



▲野口雨情役の井上さん(中央手前)と「劇団まくらが」の皆さん。人情味ある心温まる舞台を演じました

● 議場で初コンサート 澄んだ音色が議場に響き渡る



▲市民が議場に気軽に足を運び、議会に関心を持ってもらう機会となる「議場コンサート」

12月14日、古河市議会議場で「議場コンサート」が開かれました。市民に身近で開かれた市議会を目指し企画されたもので、12月定例会が初めての開催となりました。

当日は一般質問開始前の午前9時から、市内を拠点に活動する「二胡クラブ 茉莉花」と「ゆるリコ ファミリーオ」が演奏。通常は議員の論戦の場が、音楽の演奏会場に様変わり。二胡とリコーダーの優しい音色に、市民や議員、市執行部など約80人が酔いしれました。次回、3月定例会も開催予定です。

● 7,000歩で歩ける 新春の七福神めぐり



▲新たな一年の幸福をそれぞれが願いました

1月10日、「第10回古河七福神めぐり」が行われました。これは、年の初めに市内の七福神を祀る寺院や神社10カ所を巡拝しながら城下町古河の風情を楽しむものです。

4.5キロメートルという気軽に歩ける距離と古河駅西口が出発地ということもあり、市外からもたくさんの方が参加しました。新春の穏やかな日差しの中、参加者は各所でつきたての餅や甘酒などのふるまいを受けながら、それぞれのペースでゆっくり散策し、七福神めぐりを楽しみました。